

日本保健物理学会 Newsletter 2019年9月25日号

送信者: 一般社団法人日本保健物理学会 <exec.off@jhps.or.jp>2019年9月25日 9:06

---

日本保健物理学会 Newsletter 2019年9月25日号

---

## 1. 学会関連情報

○第2回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会 (12月4日(水)-7日(土)、仙台) 発表申し込み締め切りしました。

第1回合同大会を超えて216演題の発表申し込みがありました。

プログラムは10月初めに公開いたします。少々お待ち下さい。

○国際若手ワークショップ 12月4日(水)開催(仙台年次大会の初日)

Joint JHPS-SRP-KARP Workshop of Young Generation Network “The future of radiation protection profession”

現在アブストラクト受付中(締切:9月30日(月) 延長されました)

<http://www.2019sendai.jrsm.jp/workshop/>

○放射線防護アンブレラ事業 放射線防護人材の実態調査へのご協力をお願い

JHPSを含む放射線防護関連4学会は、放射線防護分野の人材が枯渇しつつある現状の把握とその原因究明を行うことを目的としたアンケート調査を実施(締切9月末)

<https://forms.gle/69h23PwnNLZRLN2n8>

○「放射性廃棄物処分に係るわる生活圈被ばく評価に用いられるパラメータ調査専門研究会」第2回会合のご案内

日時: 令和元年10月10日(木)13:00~15:00(予定)(会場予約13:00~17:00)

場所: 東京大学 浅野キャンパス 工学部12号館2階222室

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=171>

○第3回PU専門研究会(9/5開催)の議事録を掲載いたしました。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/info/page.cgi?id=49>

## 2. 関連する研究情報

論文紹介

○Radiat Res. 2019 Aug 26. doi: 10.1667/RR15358.1. [Epub ahead of print]

英国の放射線作業者コホート(NRRW)は、INOWRKSを構成するコホートである。本論文は2011年までの追跡で白血病の死亡率および罹患率に注目して解析した結果、線形モデルを用いたときに、過剰相対リスクが1.38 per Sv (90% CI:0.04; 3.24)、過剰絶対リスクが1.33 per 10,000人年 Sv (90% CI:0.04; 2.89)を示した。この結果は原爆データと一貫性があり、低線量の長期外部被ばくにおいても白血病リスクが増加することの証拠を示した。

Risk of Leukemia Associated with Protracted Low-Dose Radiation Exposure: Updated Results from the National Registry for Radiation Workers Study

Gillies M, Haylock R, Hunter N, Zhang W.

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/31449440>

ORadiat Res. 2019 Aug 30. doi: 10.1667/RR15394.1. [Epub ahead of print]

原爆被爆生存者のうち妊娠女性の線量評価(胎児)のために新しいボクセルファントム(JP45)を開発した。このファントムを用いた線量評価は従来の推定値が一般に過小評価となっていて、その度合いは放射線の種類とジオメトリに依存する。光子のISO場で5-7%で最小、中性子のAP場で20-30%で最大であった。また、母体の臓器線量は非妊娠女性の評価を用いると過大評価となることなどを示した。

Dosimetric impact of a new computational voxel phantom series for the Japanese atomic bomb survivors: Pregnant Females

Paulbeck C, Griffin K, Lee C, Cullings H, et al.

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/31469615>

OJ Radiol Prot. 2019 Sep; 39(3):854-87

南相馬市の18392人の大人と3650人の小児を対象に2013年6月から2016年9月までに個人線量計を用いて除染効果を調べた。物理半減期による減衰を除いて評価した結果、除染していない地域が12-23%(大人)、13%-23%(小児)に減少したのに対して、除染した地域では2013-2014で31%-36%(大人)、33%-35%(小児)で有意に高かった。除染効果は30-40%と評価され除染の効果を明らかにした。

Impact of decontamination on individual radiation doses from external exposure among residents of Minamisoma City after the 2011 Fukushima Daiichi nuclear power plant incident in Japan: a retrospective observational study.

Tsubokura M, Murakami M, Takebayashi Y, et al.

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/31181542>

OInt J Radiat Biol. 2019 Sept 20. doi: 10.1080/09553002.2019.1665209.

[Epub ahead of print]

2018年に欧州のMELODIとCONCERTが合同で開催した放射線個人感受性ワークショップ

での議論をまとめた総説の第2報。放射線個人感受性とその修飾

因子(年齢、性別、塩基配列変化など)に関する臨床的知見と疫学的知見の現状をまとめるとともに、今後の展望として7項目を勧告。

Clinical and epidemiological observations on individual radiation sensitivity and susceptibility.

Seibold P et al.

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/31539290>

(第1報は <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/31347938> ←Newsletter 2019年8月14日号で紹介)

○J. Benefit-Cost Anal. 2019 Sept 13. doi: 10.1017/bca.2019.19. [Epub ahead of print]

福島事故後の米国の食品安全規制とそのインパクトについて、米国食品安全局(FDA)が中心となってまとめた論文。

Fukushima: U.S. Response and the Short-Term Impact on U.S.-Japan Trade in Fish and Seafood.

Vardon P et al.

<https://doi.org/10.1017/bca.2019.19>

### 3. ニュースや社会の動き

○ ICRP TG93 レポートの意見募集の締め切り延長(10月25日まで)

<http://www.icrp.org/admin/NEWS%202019-09-13%20TG93.pdf>

### 4. これからのイベント

#### 5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○福島県立医科大学放射線生命科学講座(生命科学分野)のポスドクまたは研究補助者 常勤・任期あり(締切: 2020年2月29日)

[https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D119090695&ln\\_jor=0](https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D119090695&ln_jor=0)

○東京大学 技術職員(放射線安全管理業務全般) 常勤・任期なし(締切: 11月15日)

<https://www.ric.u-tokyo.ac.jp/topics/2019/0912.html>

○福島大学環境放射能研究所特任准教授1名及び特任助教又は研究員1名(放射能環境動態、計測・分析に関する分野)常勤・任期あり(締切: 11月29日)

[http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/web/o\\_recruitment\\_kyoujyu-6.html](http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/web/o_recruitment_kyoujyu-6.html)

[http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/web/o\\_recruitment\\_kyoujyu-5.html](http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/web/o_recruitment_kyoujyu-5.html)

既発行の Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

Newsletter にて会員に有益な最新論文やイベント情報等の発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

-----

【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同広報担当 Newsletter 作成グループ

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: [exec.off@jhps.or.jp](mailto:exec.off@jhps.or.jp)

-----